

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限（クローズド期間はありませぬ）	
運 用 方 針	ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド (ベビーファンド)	ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド (ベビーファンド)	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年10月27日。ただし、休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。経費控除後の配当等収益（繰越分及びマザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）及び売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額とします。委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第16期

（決算日 2021年10月27日）

ソフトバンク & SBIグループ 株式ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ソフトバンク & SBIグループ株式ファンド」は、2021年10月27日に第16期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
12期(2017年10月27日)	15,316	0	40.0	95.1	1,351
13期(2018年10月29日)	12,735	0	△ 16.9	96.0	1,240
14期(2019年10月28日)	12,820	0	0.7	96.0	1,208
15期(2020年10月27日)	18,062	0	40.9	97.7	1,042
16期(2021年10月27日)	20,226	0	12.0	96.7	1,095

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
	円	騰落率	
(期首) 2020年10月27日	18,062	% —	% 97.7
10月末	17,799	△ 1.5	96.6
11月末	18,301	1.3	97.0
12月末	18,677	3.4	97.2
2021年1月末	19,381	7.3	98.1
2月末	21,170	17.2	97.4
3月末	20,538	13.7	96.4
4月末	20,665	14.4	96.3
5月末	19,519	8.1	96.0
6月末	19,783	9.5	97.4
7月末	18,930	4.8	97.7
8月末	19,889	10.1	97.9
9月末	20,553	13.8	97.9
(期末) 2021年10月27日	20,226	12.0	96.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2020年10月28日から2021年10月27日まで）

○基準価額等の推移



期首：18,062円

期末：20,226円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：12.0%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、期初18,062円でスタートしたあと、当ファンドでは一部組入銘柄の中間期決算の内容が嫌気され、当ファンドは2020年11月18日に期中最高値の17,103円を付けました。その後は相場の反転と共に上昇に転じると、2021年2月16日に期中最高値の22,001円を付けました。期の中旬には、国内の新型コロナワクチン接種の遅れなどが投資家心理を冷やし相場の値上がりが重くなると、当ファンドも水準を切り下げる展開になりました。そして、5月上旬頃に中国政府が自国のIT企業への規制強化を発表したこと等が当ファンドの重石となりました。期末にかけては、相場の持ち直しを受けて当ファンドも上昇に転じましたが、不安定な相場展開が続き20,226円で期末を迎えました。

個別銘柄では、ソフトバンクの上昇が大きく寄与しました。法人事業の業績が好調を維持したことに加え、携帯電話の値下げ要請に注力してきた菅首相が退任を表明したことなどが株高の原動力となりました。一方、メディカル・データ・ビジョンの下落がマイナス寄与となりました。同社は医療・健康に係るデータを蓄積し医療の質向上等に役立つ医療情報システムの開発・販売会社であり、診療データ調査分析の案件数や単価は上昇しており順調に業績を伸ばしています。ただし、前年のコロナ禍で株価が大きく伸長した反動に加えて、子会社増加に伴う原価率上昇、新サービス開発の先行投資の発生等が嫌気され株価は軟調となりました。

○投資環境

当期の国内株式は、2021年2月下旬まで上昇した後、8月下旬にかけて緩やかに水準を切り下げました。しかし、その後に菅首相が退任を表明したことをきっかけに、大幅に上昇し日経平均は約32年ぶりの水準まで上昇しましたが、9月中旬以降は外部環境の不透明感の高まり等が重石となり、不安定な相場展開となりました。

期の前半は、米大統領選の通過に伴う政治的不透明感の後退や、グローバルで新型コロナワクチンの開発・承認などを原動力に上昇基調となり、日経平均は2月に30,000円台を回復しました。

期中旬は、企業業績の改善が下値を支える一方で、①海外比で新型コロナワクチンの接種の遅れ、②重要選挙を控える中での内閣支持率低下と政治的不透明感の台頭、③緊急事態宣言の再発令等による消費回復の遅れなどの国内要因に、米インフレ高進懸念が台頭したことや、6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で緩和縮小に向けた動きが示されたこと等が加わり、日経平均は28,000円を割り込む場面も見られました。

しかし、期の後半は、9月3日に菅首相が自民党総裁選に出馬しない意向を表明すると相場環境は一変。秋頃（後に10月24日投票開票と決定）控える衆院選で自民党が大敗するリスクが後退したこと、次期首相による政策への期待が高まったことから、日経平均は9月中旬にかけて急伸し、約32年ぶりの水準まで上昇しました。もっとも、(1) 中国恒大集団のデフォルトリスク、(2) 中国景気鈍化懸念、(3) 資源高等を受けたインフレ高進懸念、(4) 米長期金利の上昇一などの外部環境の不透明感が重石となり、売りに押される展開になりました。期末にかけては好調な米国企業の決算発表等を受けて持ち直す展開となりましたが、期末の日経平均は29,098円で取引を終えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、SBIホールディングスの関連会社であるメディカル・データ・ビジョン（3902）及びALBERT（3906）、ソフトバンクの関連会社であるイーエムネット（7036）、ソフトバンクグループの関連会社である出前館（2484）を新規に組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2020年10月28日～ 2021年10月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,225

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書(目論見書)に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例(1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%)して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年10月28日～2021年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	181 (86) (86) (9)	0.924 (0.440) (0.440) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	19 (19)	0.096 (0.096)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権 口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	10 (10)	0.051 (0.051)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	210	1.071	
期中の平均基準価額は、19,600円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

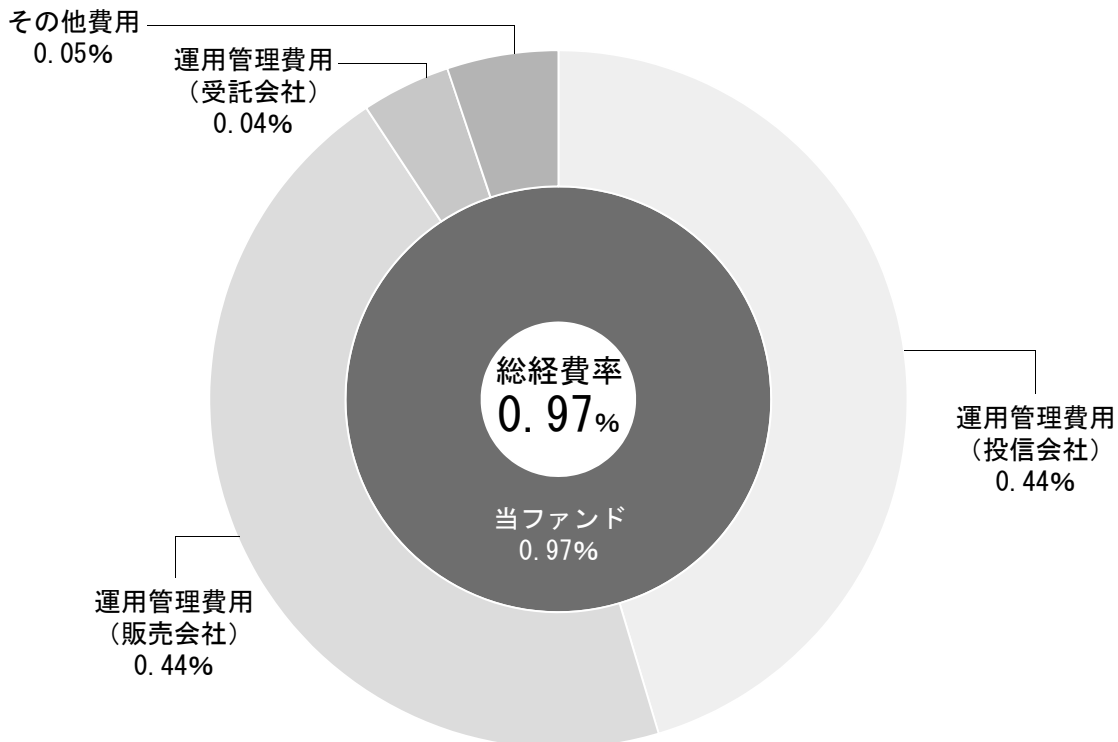
(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.97%**です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年10月28日～2021年10月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 96,963	千円 222,000	千口 132,799	千円 309,500

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2020年10月28日～2021年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	688,606千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,039,126千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.66

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月28日～2021年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
	百万円	百万円	百万円
株式	6	17	35

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモーニングスター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2021年10月27日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	505, 189	469, 353	1, 091, 668

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年10月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	1, 091, 668	98. 8
コール・ローン等、その他	12, 739	1. 2
投資信託財産総額	1, 104, 407	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年10月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,104,407,349円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	12,739,044
ソフトバンク&SBIグループ株 式・マザーファンド(評価額)	1,091,668,305
(B) 負 債	8,690,000
未 払 解 約 金	3,401,102
未 払 信 託 報 酬	5,013,864
未 払 利 息	34
そ の 他 未 払 費 用	275,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,095,717,349
元 本	541,737,827
次 期 繰 越 損 益 金	553,979,522
(D) 受 益 権 総 口 数	541,737,827口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	20,226円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	577,276,590円
期中追加設定元本額	237,189,997円
期中一部解約元本額	272,728,760円

○損益の状況 (2020年10月28日～2021年10月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 取 益	△ 10,118円
支 払 利 息	△ 10,118
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	88,973,410
売 買 益	137,439,347
売 買 損	△ 48,465,937
(C) 信 託 報 酬 等	△ 10,578,063
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	78,385,229
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	124,389,657
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	351,204,636
(配 当 等 相 当 額)	(268,288,329)
(売 買 損 益 相 当 額)	(82,916,307)
(G) 計 (D + E + F)	553,979,522
(H) 取 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	553,979,522
追 加 信 託 差 損 益 金	351,204,636
(配 当 等 相 当 額)	(269,658,560)
(売 買 損 益 相 当 額)	(81,546,076)
分 配 準 備 積 立 金	202,774,886

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,618,417円)、費用控除後の有価証券等損益額(54,766,812円)、信託約款に規定する収益調整金(351,204,636円)および分配準備積立金(124,389,657円)より分配対象収益は553,979,522円(10,000口当たり10,225円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第16期 運用報告書

(決算日 2021年10月27日)

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンドの第16期（2020年10月28日から2021年10月27日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	この投資信託は、わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & SBIグループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所の上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
12期(2017年10月27日)	16,929	41.4	95.5	1,345
13期(2018年10月29日)	14,208	△ 16.1	96.3	1,236
14期(2019年10月28日)	14,440	1.6	96.3	1,205
15期(2020年10月27日)	20,562	42.4	98.0	1,038
16期(2021年10月27日)	23,259	13.1	97.1	1,091

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2020年10月27日	20,562	—	98.0
10月末	20,263	△ 1.5	97.0
11月末	20,854	1.4	97.4
12月末	21,302	3.6	97.5
2021年1月末	22,126	7.6	98.4
2月末	24,226	17.8	92.7
3月末	23,488	14.2	96.7
4月末	23,652	15.0	96.6
5月末	22,354	8.7	96.3
6月末	22,676	10.3	97.7
7月末	21,712	5.6	98.1
8月末	22,835	11.1	98.3
9月末	23,620	14.9	98.2
(期末)			
2021年10月27日	23,259	13.1	97.1

(注1) 騰落率は期首比。

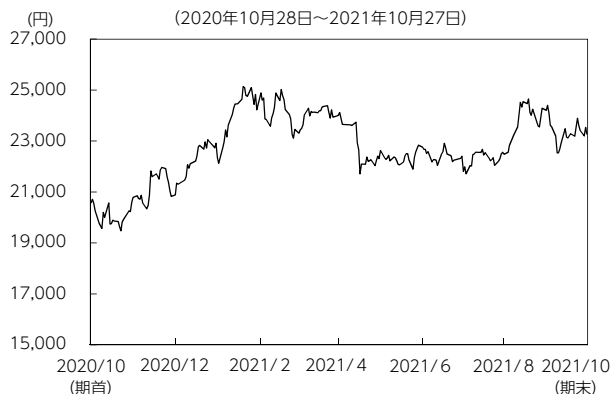
(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2020年10月28日から2021年10月27日まで）

○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首20,562円から始まったあと、期末には23,259円となりました。期を通じて騰落率は13.1%の上昇となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2020/10/27	2021/2/16	2020/11/18	2021/10/27
基準価額（円）	20,562	25,139	19,478	23,259

【組入上位10銘柄】

(2021年10月27日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	31.8%
2	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	30.9
3	Zホールディングス	情報・通信業	円	日本	21.9
4	ZOZO	小売業	円	日本	5.5
5	SBIホールディングス	証券、商品先物取引業	円	日本	3.0
6	出前館	情報・通信業	円	日本	0.8
7	アスクル	小売業	円	日本	0.7
8	パリュウコマース	サービス業	円	日本	0.7
9	SREホールディングス	不動産業	円	日本	0.5
10	SBテクノロジー	情報・通信業	円	日本	0.3
組入銘柄数		21銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、P16に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

当期の組入銘柄の異動は、SBIホールディングスの関連会社であるメディカル・データ・ビジョン（3902）及びALBERT（3906）、ソフトバンクの関連会社であるイーエムネット（7036）、ソフトバンクグループの関連会社である出前館（2484）を新規に組み入れました。

○今後の運用方針

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、投資信託説明書（目論見書）に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね33.3%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2020年10月28日～2021年10月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	円 22 (22)	% 0.096 (0.096)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	－ (－)	－ (－)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	22	0.096	
期中の平均基準価額は、22,425円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2020年10月28日～2021年10月27日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		231	308,449	234	380,157
		(2)	(－)		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年10月28日～2021年10月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	688,606千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,039,126千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.66

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月28日～2021年10月27日)

利害関係人との取引状況

該当事項はありません。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
株式	百万円 6	百万円 17	百万円 35

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモーニングスター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2021年10月27日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
情報・通信業(88.6%)			
出前館	—	6	8,592
イーブックイニシアティブジャパン	0.3	0.3	1,432
メディカル・データ・ビジョン	—	1.8	2,633
ALBERT	—	0.2	928
ブロードバンドセキュリティ	0.2	0.2	273
Zホールディングス	292.7	349.9	238,841
S Bテクノロジー	1.4	1	2,881
ソフトバンク	280.8	218.7	337,454
ソフトバンクグループ	48.1	55.2	346,711
小売業(6.4%)			
ベクター	0.8	0.6	193
アスクル	3.4	4.7	7,496
Z O Z O	18.9	14.2	59,640
証券、商品先物取引業(3.1%)			
S B Iホールディングス	14.7	11.2	33,040
保険業(0.1%)			
S B Iインシュアランスグループ	1.5	1.1	1,366

銘柄	期首(前期末)		
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
不動産業(0.5%)			
S R Eホールディングス	0.9	0.7	5,292
サービス業(1.3%)			
アイティメディア	1.2	1	2,252
バリューコマース	2.1	1.6	7,240
モーニングスター	5.4	4.1	2,152
サイジニア	0.1	0.1	200
ジーニー	1.1	0.8	747
イーエムネットジャパン	—	0.2	694
合計	株数・金額	673	673
	銘柄数<比率>	17	21
			<97.1%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の()内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2021年10月27日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	1,060,061	97.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	31,612	2.9
投 資 信 託 財 産 総 額	1,091,673	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年10月27日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,091,673,117円
コール・ローン等	19,920,977
株 式 (評 価 額)	1,060,061,840
未 収 配 当 金	11,690,300
(B) 負 債	54
未 払 利 息	54
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,091,673,063
元 本	469,353,070
次 期 繰 越 損 益 金	622,319,993
(D) 受 益 権 総 口 数	469,353,070口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	23,259円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	505,189,416円
期中追加設定元本額	96,963,505円
期中一部解約元本額	132,799,851円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	469,353,070円

○損益の状況 (2020年10月28日～2021年10月27日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	27,027,249円
受 取 配 当 金	27,049,592
支 払 利 息	△ 22,343
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	113,367,724
売 買 益	162,222,018
売 買 損	△ 48,854,294
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	140,394,973
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	533,588,674
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	125,036,495
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 176,700,149
(G) 計 (C + D + E + F)	622,319,993
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	622,319,993

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。